

Rotary



夢仕しよう みんなの人生を豊かにするために



RI 会長 シェカール・メータ
第 2590 地区ガバナー 小倉 正
MARCH. 29 2021



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARY CLUB / FOUNDED 1972.7.15

【2021-22 年度 地区方針】“クラブ基盤のさらなる充実強化”～会員の増強こそ最大のサービス(奉仕)～

会 長 貝田 充
副 会 長 金子 利昭
幹 事 原 敏之
S A A 渡邊 新治
会報委員長 小島 徹

2021～2022
第 2343 回例会
2022 年 3 月 29 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10
ホテル精養軒
TEL(044)711-8855
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428
山協ビル 402 号 TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334
E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
URL: <https://www.kawanaka-rc.com>

例 会 報 告

開会点鐘	貝田 充会長
司 会	渡邊 新治会場監督
合 唱	ロータリーソング 「それでこそロータリー」 クラブソング 「拓け未来へ 広げる友の輪」
お客様紹介	栗原 茂昭親睦活動委員 ・渡辺 典子様 NPO 法人マイ WAY 若年性認知症支援コーディネーター

		(3)		(0)		
--	--	-----	--	-----	--	--

【本日の欠席者】 三木 治一会員 金子 利昭会員
鹿島 義久会員 上原 伸一会員 朝倉 和信会員
長谷川俊雄会員

ニコニココーナー 大友 徹副会場監督

貝田 充会長: 特定非営利活動法人マイ WAY 渡辺典子様、本日は大変興味深いお話をありがとうございました。ただかなり聞くのが怖いです...

原 敏之幹事: 渡辺様本日はよろしく願い致します。卓話楽しみです。

川口 禮敬会員: 渡辺典子さん卓話ありがとうございます。大変興味あるタイトルですね。拝聴させていただきます。

島 利夫会員: ウクライナの戦争が一日も早く終わってほしいものです。

内藤 幸彦会員: 年齢相応の物忘れが続いております。今日は例会後に 50 周年実行委員会があります。第 6 回になると思いますが少しずつ前進したいと思います。名刺をお渡しします。ご参加よろしく願い致します。

小林 敏伸会員: メークアップではありません。よろしく願い致します。

稲富 正行会員: マイ WAY 渡辺典子様本日はご参加頂きありがとうございます。卓話楽しみにしています。

今後のプログラム予定

4 月	プログラム名
4 月 12 日	卓話 新極真会東京城南川崎支部 入来 建武様
4 月 19 日	卓話 富士通テクノロジー ホールオンライン見学会 富士通川崎工場 高瀬館長

出 席 報 告 廣山 宗一副出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
43 名	37 名	6 名 対象外	92.50%	欠 8 名 対象外 MUO 名 89.74%

細山 勝三郎会員: 渡辺典子様、本日の卓話興味深いです。よろしくお願い致します。

渡邊 新治会員: 卓話楽しみにしています。本日もよろしくお願い致します。

合計	9 件	10,000 円
累計	280 件	373,000 円

会 長 報 告 貝田 充会長

1. 中原区役所地域振興課より令和 4 年度多摩川美化活動の日程についてご案内が届いております。日 時: 6 月 5 日(日) 9:00~2 時間程度集合場所: 丸子橋第一広場内 容: 清掃活動
2. 地区より第 9 回全国 IA(インターアクト)研究会のご案内が届いております。日 時: 4 月 24 日(日) 14:00~16:30 開催形式: オンライン(ZOOM)詳細は回覧致します。
3. ウクライナへの人道的救援活動支援は、以下のとおり寄付致しました。ご協力ありがとうございました。
合計: 108,000 円(内訳: 国際奉仕委員会 5 万円+募金箱+事務局)
4. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま 264 が届いております。回覧いたします。

幹 事 報 告 原 敏之幹事

1. 例会変更
川崎百合丘 3 月 29 日(火) 例会中止
川崎麻生 夜間移動例会「お花見例会」
→通常例会へ変更 ホテルモリノ
点鐘 12:30
2. 例会場・事務局の変更
横浜鶴見北 新例会場 新横浜グレイスホテル(3/31(木)~)
新横浜 新例会場 新横浜グレイスホテル(4/1(金)~)
新事務局 横浜市港北区新横浜 2-14-8 オフィス新横浜
708 電話: 045-471-2812 FAX:
045-345-3164
3. 次週 4/5 は例会終了後、理事役員会を開催いたします。関係各位のご出席をお願い致します。
4. <4 月の予定>
4/5 通常例会後、理事役員会
4/12 通常例会
4/19 通常例会

4/26 休会

5. 2022/4~6 月分の年会費 75,000 円は(内訳: 年会費 75,000 円)は、4/1(金)に引落されます。現金払いの方は4月の例会時にお願い致します。

卓 話 「若年性認知症について」

NPO法人マイWAY (若年性認知症サポートデスク)

若年性認知症コーディネーター 渡辺 典子 様



紹介者 稲富 正行プログラム委員長



<略歴>

渡辺 典子様 (NPO法人マイWay / 若年性認知症サポートデスク)
高齢者介護の現場にてケアマネジャー等を経て、2013 年から川崎市で若年性認知症のご本人とともに『はたらく場マイWay』(障害福祉サービス)を立ち上げ、活動している。
2020 年からは川崎市から委託を受け、若年性認知症支援コーディネーターとしても活動を開始。現在は、診断前後の初期の方を中心に本人や家族からの相談にも関わっている

<講義概略>

「人生 100 年時代」と言われる時代になり、超高齢社会に向かう日本においては、65 歳以上の働く人が年々増加しており、治療を受けながら働き続けることを希望する人が今後も増えることが見込まれます。それは認知症を発症した方にも同じことが考えられます。

認知症は一般的には高齢者に多い病気ですが、65 歳未満で発症した場合には「若年性認知症」と呼ばれます。若年性認知症の人の平均発症年齢は約 51 歳の働き盛りであり、社会でも家庭でも中心的役割を担っています。本人やその家族にとって経済的な問題は大きく、将来的な不安を抱えており、就労継続や社会参加を含め様々な分野にわたる支援が必要となります。就労中に発症した場合、そのまま就労を継続することが望ましいとされますが、そのためには本人の努力とともに、職場内の理解と協力が不可欠です。「若年性認知症」の特徴をはじめ、本人の状況、変調に気づかれた職場の方が雇用期間内にできること、活用できる制度やサービスなど具体例を述べながらお伝えします。

若年性認知症とは？

- 65歳未満で発症した場合の認知症
- 平成21年に発表された国の調査結果では、全国に約37,800人とされた
- 平均の発症年齢は、51.3歳



© Iku Center for Dementia Care Research and Practices

認知症とは？

認知症は、脳の神経細胞が、十分に働かなくなるためにおこる病気

1. 原因は病気による脳の変化
2. 記憶などの知的な働きが低下していく
3. 日常生活や、仕事などの社会生活がうまく送れない
4. 意識がはっきりしている

© Iku Center for Dementia Care Research and Practices

認知症高齢者との違い

- 発症年齢が若い
- 男性に多い
- 初発症状が認知症特有のもでなく、診断しにくい
- 異常であることには気がつくが、受診が遅れる
- 経済的な問題が大きい
- 主介護者が配偶者に集中する
- 時に複数介護となる
- 家庭内での課題が多い（就労、子供の教育・結婚など）

若年性認知症と診断されたら

もしあなたが若年性認知症と診断されたら

- どのような気持ちになりますか？
- どのような心配事がありますか？

もしあなたの家族が若年性認知症と診断されたら

- どのような気持ちになりますか？
- どのような心配事がありますか？

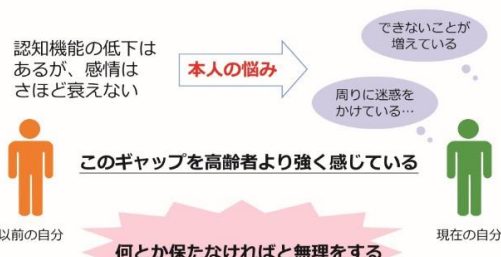
うつ状態と認知症の特徴

	うつ状態	認知症
発症	週～月単位で、何らかのきっかけがある	ゆっくりと発症し、特定しにくい
経過	発症後、症状は急速に進行し、日内・日差変動がある	一般にゆっくりと、変動が少なく、進行性
記憶障害	記憶障害を強く訴える 考えてもわからないという 最近の記憶も昔の記憶も同様に低下	記憶障害を否認するが、他覚的にはみられる 最近の記憶が障害される
答え方	質問に「わからない」と答える	誤った答え、作話をしたり、つじつま合わせをする
自己評価	自分の能力低下を嘆く	自分の能力低下を隠す
思考内容	自罰的、自分を責める	他罰的、他人のせいにする
身体症状	不眠、食欲低下など	あまり見られない
気分・感情	気分は日内変動する 悲観、空虚感	怒りっぽい、感情と一致しない言動がある

社会的な課題

- 定年で退職した高齢者とは異なり、若年性認知症の人は、病気によりやむなく退職する。
 - 本人にとって**不本意な退職**
 - 働く場を失ってしまうと、経済的な面の不利益だけでなく、**社会から取り残された気持ち**になる
- 初期の段階であれば、体力も十分にあり、何らかのサポートがあればできることが多く、仕事をしたいと希望する人もいる。
 - このような**社会復帰への願望**は高齢者より強い
- 働き盛りの人が、病気により退職したり、家庭での役割を果たせなくなることは、**社会にとっても大きな損失**

本人の気持ち



© Iku Center for Dementia Care Research and Practices

(中略)

本人・会社のそれぞれの思い

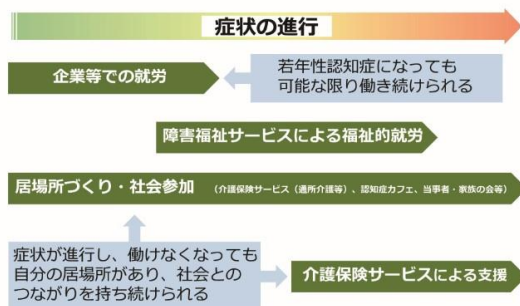
【若年性認知症の本人】

- ・それができないからといって、どうして辞めなければならぬの？
- ・仕事を辞めざるを得ないのは辛い
- ・できることがあると嬉しい

【会社側】

- ・今まで貢献してくれた従業員だから何とかしたい
- ・従業員の家族の顔が浮かぶのが辛い
- ・復職しても結局本人は辞めざるを得なくなるので辛い

若年性認知症の人の就労・社会参加



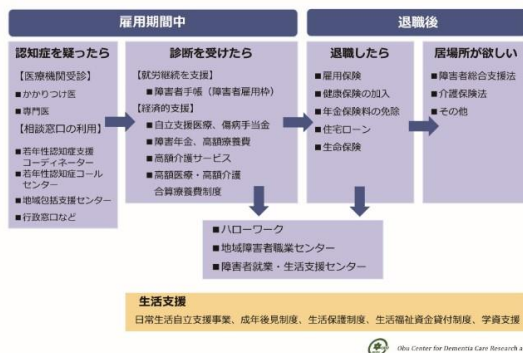
ソフトランディングの視点

症状進行等を考慮して、能力に応じた業務の遂行と同時に離職への備え、居場所・生きがいづくりなど切れ目のない支援をすすめる

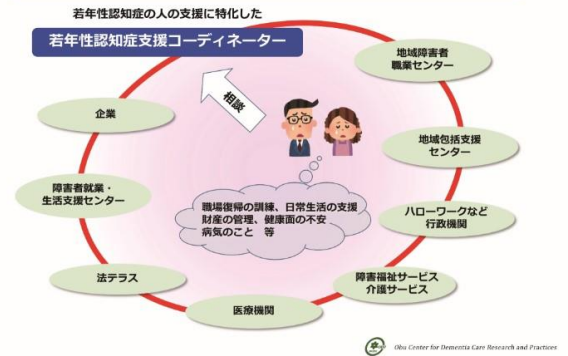
職場の適切な対応

専門的な立場からの助言や支援
(例) 若年性認知症支援コーディネーター

活用できるサービスや社会制度の流れ



若年性認知症の人の就労継続に向けて



(中略)

まとめ

- ・若年性認知症の人は、多くの場合、現役で仕事や家事をしており、認知機能の低下が軽い状態でも支障が出るので、周りの人が気付きやすい

- ・一方で、体調や言動の変化があっても認知症とは思いつかないことがある

- ・認知症は進行する病気であるが、早期に診断されれば、記憶力の低下などがあっても、まだまだできることは多く、適切なサポートによって仕事や家事を続けていくことが可能である

若年性認知症支援コーディネーター

- ◆ 若年性認知症の人のニーズにあった関係機関やサービス担当者との調整役
- ◆ 本人が自分らしい生活を継続できるよう本人の生活に応じた総合的なコーディネートを行う
- ◆ 各都道府県に1名以上配置
- ◆ 認知症が疑われる時期から相談可能

若年性認知症の人の支援に特化

相談窓口
制度等の
情報提供

連携体制
の構築

認知症の
知識の
普及・啓発

若年性認知症の人を支える人々

